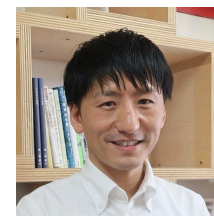


土井 (脩) 研究室

(住環境計画学)

土井 脩史(講師)



1 メッセージ

住宅のデザインを考えるにあたっては、住まい手の生活に適合することが重要です。しかし、住まい手の生活は個人・家族によって多種多様であり、時間経過とともに変化していくものでもあります。

本研究室では、人々の多様な生活やその変化に合わせて、柔軟に順応していくことで長く使い続けられる「Adaptable」(アダプタブル)な住環境の構築を目指して研究を行っています。

2 研究テーマ

アダプタブルな住環境の構築に向けた実践的研究

(具体的な研究テーマの例)

- 可変型住宅(スケルトン・インフィル方式など)の計画技術の開発
- 日本の伝統住宅の空間構成を継承した環境配慮住宅の開発
- ABW(Activity Based Working)に対応した居住空間の計画手法の開発

3 担当科目

学部

- 住居学(3回生)
- 設計製図1(2回生、木造住宅意匠設計)
- 設計製図2(2回生、小規模集合住宅)

大学院

- 居住空間設計学系特論
- 計画(住居系)演習

4 主な論文

- Partial Insulation Renovation Project at Japanese Traditional Wooden House, Grand Renewable Energy(2018)
- Verification of the Infill Systems in the Skeleton Rental Housing built in 1999-Through a Case of Flex Court Yoshida-, UIA 2017 Seoul World Architect Congress, Special session,(2017)
- 既存集合住宅における断熱建具を導入した部分断熱改修手法に関する研究—住まい手の生活からみた有効性と課題の考察—, 日本建築学会計画系論文集(2016)
- DIYを導入した賃貸集合住宅における入居者のライフスタイルに関する研究—京都府・堀川団地における住戸改修実験を通じて—, 住宅系研究報告会論文集(2015)
- 可変インフィルのガイドとなる固定インフィルの設計手法に関する研究—実験集合住宅NEXT21の住戸改修実験における試設計を通じて—, 日本建築学会計画系論文集(2015)

5 主な計画作品

- 公社賃貸住宅住戸リノベーション(2023, 松下大輔研究室と共同PJ)
- 堀川商店街展示空間デザイン(2023)
- 堀川団地S邸改修(2021、セルフビルド)
- 檜原団地集会所&中庭の休憩所(2018、セルフビルド)
- 平成の京町家 東山八坂通(2014)
- 京町家N邸部分断熱改修(2013)
- 高野の賃貸アパート部分断熱改修(2010,2012)

6 研究室活動

住環境計画学研究室では、住まい・まちづくりに関わる実践に参画しながら、研究や設計を進めている点が特徴です。

また、小伊藤研究室と合同で研究活動を行っており、学生同士で切磋琢磨しながら研究に取り組んでもらうことを大切にしています。



堀川商店街 展示空間デザイン



公社賃貸住宅
住戸リノベーション

地方移住者(瀬の浦)の
生活圏調査